

# 令和 8 年度 第 1 回運営推進会議

作成日 令和 8 年 5 月 20 日

## 1 基本情報

日時	令和 8 年 5 月 20 日 ( 水 )	17 時 00 分 ~ 18 時 00 分
事業所名	看護小規模多機能型居宅介護あみ	
所在地	静岡市葵区上伝馬 23-6	
担当者	稲葉恵美	

## 2 出席者

分野	所属
地域住民代表	上伝馬町内会長
地域包括支援センター	センター職員
民生委員	民生委員
民生委員	民生委員
看多機あみ	管理者
看多機あみ	介護支援専門員
看多機あみ	介護主任
看多機あみ	介護主任介護副主任

## 3 前回活動報告に関する評価・意見・要望

<ul style="list-style-type: none"><li>・防災訓練で地域の方も招いて消火器の操作、災害時の処置について説明 内容は良かったと好評でしたが、参加者が少なかつたためまた広報について検討の必要がある。</li><li>・地震・火災の際にはブレーカーを落とす、ガスの元栓を占めるなどを気にする。ただ最近ではブレーカーは中部電気が管理できるのかも</li><li>・障害者の受け入れはできるのか 介護保険を持っていれば受け入れは出来ると思うが、そうでないと難しい。障害者の対応は市役所が担当しており、包括でも把握できていない。また精神科など表面に出ていない人もいると思う。 65歳になれば介護保険に移行する</li><li>・公民館に AED を設置してはどうか 今まで使ったことはない。また使える人がいないのではないとの意見があるが、消防などで講習を行っているので検討してみてもいいのでは。一番近くで AED を設置しているのは杏林堂とあみになる 学区の防災訓練でも AED の講習を取り入れてはどうか</li><li>・連合会があるが連合会の下に専門部会があるがバラバラに動いていた。来年は少し動きが変わる予定。</li></ul>
---

・西豊田の紫綬防災では障害者も一緒に行っている

#### 4 利用者登録者数

	7.5	7.6	7.7	7.8	7.9	7.10	7.11	7.12	8.1	8.2	8.3	8.4
登録	13	15	17	16	14	16	17	18+1	16	18	19	19
新規	0	3	3	0	1	3	1	2+1	1	3	2	1
終了	1	1	1	3	1	0	1	4	1	1	1	3

#### 5 介護度

	7.5	7.6	7.7	7.8	7.9	7.10	7.11	7.12	8.1	8.2	8.3	8.4
1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1
2	3	3	4	4	2	4	4	6	6	6	7	5
3	4	3	4	3	3	3	3	3	2	2	3	2
4	5	7	7	7	7	6	7	5	4	4	4	5
5	1	2	2	2	2	2	3	3	4	4	4	4

#### 6 サービス別利用回数

	7.5	7.6	7.7	7.8	7.9	7.10	7.11	7.12	8.1	8.2	8.3	8.4
通い	257	302	349	314	263	304	318	351	316	308	315	288
泊まり	114	184	217	175	129	151	164	192	152	132	177	153
訪問介 護	279	217	255	263	249	262	255	259	277	285	240	228
訪問看 護	12	8	22	38	32	35	32	32	41	25	17	12

#### 7 医療的ケア

- ・尿管カテーテル留置 1名
- ・胃瘻 1名
- ・リハビリ 18名 集団体操及び個別リハビリ
- ・人工肛門管理 0名
- ・酸素吸入 1名
- ・服薬管理 18名 医療用麻薬管理 1名
- ・抗がん剤治療中 1名

## 8 リスクマネジメント

### 事故報告 1

車いすからのずれ落ち件

### ヒヤリハット 2件

虚空ケアのスポンジ

移乗時の倒れ

### 苦情 1件

事務所内での利用者情報

## 9 行事

3月

4月 コーヒーゼリー作り

## 10 研修

3月

4月 プライバシー 自己評価 介護保険改定

## 11 その他

看護小規模多機能型居宅介護あみ直通の電話

054-266-6833

次回開催予定 7月 15日 17時

2か月に1回の開催

## 要望・ご意見

5月に市の危機管理課をお呼びして静岡市の防災についておよび訪問中の注意点などの研修を受けている。パニックにならないように情報収集をおこなうこと。またBCPの整備を行うことになっている

事業評価の中で倫理に関して法人の倫理は決まっているが、看多機独自の倫理を検討し、ケアや評価などをしやすくする取り組みを進めている。

石油由来の製品が手に入りにくくなっているが、現状はまだ困っていない

身寄りのない人、支援のはざまにいる人などの行き場がなくなっていることがある。

またひきこもり問題もあり、包括や民生員でも把握が難しいこともある。